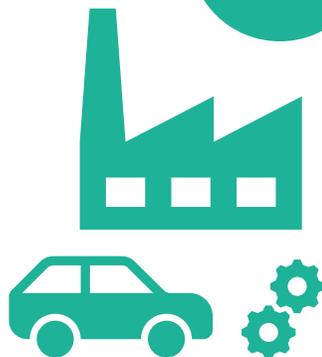


製造業B

長野県/製造業

事業概要

長野県にある、自動車部品の製造や検査などを行う会社です。本事業では、空調設備、受変電設備、コンプレッサ、給排水・排水処理において省エネ診断を受診し、運用改善3件、投資改善2件の提案を受けました。

従業員数
20名以下まるっとプラン
16,500円

省エネ効果

エネルギー削減量
(原油換算値)

0.3 kl/年



費用削減額

13.3 万円/年

※ 端数処理を切り捨てて行っているため、合計値と内訳の合計が不一致となる場合があります。

登録診断機関からのコメント

事業所はCO2ゼロのグリーン電力を購入しており、その使用先は乾燥炉、コンプレッサ、井水の揚水ポンプと給水加圧ポンプ、エアコンです。省エネ状況として、エアコンは計画的に更新を実施しています。また給水加圧ポンプやエアコンの冷却水ポンプ、工場内のファンにインバータを取り付け省エネを図っています。今回は運用改善3件、投資案件を2件を提案しています。運用改善については比較的实施が容易であるため、稼働が低い時期での取り組みを期待しております。投資案件については補助対象になりますので費用対効果を吟味して考慮の上進めてくださればと思います。

事業者様の声

費用0円で取り組める運用改善に興味があり、エネルギーコストを削減するため省エネ診断を申し込みました。時間や費用をかけずに導入可能な省エネ提案について、専門家から詳細に解説してもらえたため満足しています。

空調設備

運用
改善投資
改善

倉庫の水冷パッケージ型空調機は、導入後30年以上経過し老朽化が進んでいます。性能劣化が見られ電力使用量も多く、冷媒はR22を使用して補修ができないので高効率空冷エアコンに更新して省エネを図ります。



0.06 kl/年



2.8 万円/年



受変電設備

運用
改善投資
改善

現状の変圧器は稼働後20年以上経過し老朽化が進んでいます。最近の変圧器に比べて、効率が低く電力損失が多いので、変圧器を更新し電力損失を低減します。



0.12 kl/年



5.4 万円/年



コンプレッサ

運用
改善投資
改善

工場共通の空気圧力源として、スクリー型コンプレッサが設置されており、本体の吐出圧力は0.75MPa-Gでした。工作機器は減圧弁にて0.4MPa-G以下で利用していました。吐出圧力が高いほど、コンプレッサの消費電力が高くなりますので吐出圧力を下げて消費電力の低減を図ります。

【その他以下の提案を含む】
漏れの低減

0.06 kl/年



2.9 万円/年



給排水・排水処理

運用
改善投資
改善

井水の受水槽の給水加圧ポンプは平屋の工場、事務室の飲料、トイレ、工作機器・エアコンの冷却水等に供給しておりインバータにて給水圧力を15kPaで運用しています。現状の給水圧力を下げることで電力を削減します。



0.05 kl/年



2.2 万円/年



空調

照明

ボイラ
給湯

受変電

コンプレッサ

デマ
ンド冷凍
冷蔵生産
設備

工場炉

給排水